

2017年 市政ハイライト



1月21日 地域住民を開館セレモニーで歓迎

1 9日 文化会館で「野田市成人式」

新成人となった39人の実行委員会が式典を進行し、新成人1,624人のうち、1,131人が参加しました。

21日 新川間公民館が開館

新施設は、「新たな活力を生む癒しと学びの公民館」を基本方針とし、誰もが利用しやすい生涯学習と地域活動の拠点として、仲間づくりや地域づくりに利用されています。災害時には、避難所としても利用できます。

29日 女流名人戦第3局で里見女流名人が勝利

里見香奈女流名人に、上田初美女流三段が挑む「第43期岡田美術館杯女流名人戦」五番勝負第3局が、関根名人記念館対局室で開催されました。また、同記念館展示室では1月18日から3月20日まで「十四世名人木村義雄のお宝展」を開催しました。

2 12日 「市民活動元気アップふえすた」を初開催

市民の地域活動参加へのきっかけづくりや団体間の絆づくりに、野田市市民活動支援センターに登録された25団体が舞台発表や体験、相談などで日ごろの活動紹介をしました。

13日 市民から魅力発信事業を公募開始

市民のアイデアで野田市の魅力を発信してもらう市民主体の事業を募集し、34件の応募の中から8事業を決定しました。

3 1日 築田氏の歴史を市のホームページで紹介

国の地方創生加速化交付金を活用して、茨城県境町や五霞町と広域連携し、戦国時代に関宿を舞台に活躍した築田氏の歴史を「関宿と築田氏～戦国期に活躍した一族」として公開しました。名所・旧跡や史跡に加え、各地の特産品や食事処などの情報と合わせて紹介しています。

15日 公立中学校にエアコン設置が完了

31日 川間駅北口の駅前広場が完成

駅前広場はバリアフリーに対応し、高齢者や障がい者などに配慮した歩道や乗降場を設置するなど、駅利用者の安全性を確保しています。乗降場には屋根を整備することで駅から雨に濡れずに移動でき、夜には明るい照明が点灯されます。

4 1日 市政推進室の新設や市役所組織の再編

重要施策や部局横断的な施策にこれまで以上にスピード感を持って対応する、市長直轄の市政推進室を新たに設置しました。

1日 保育所入所の待機児童のゼロを2年連続達成

3日 放課後に学習支援「子ども未来教室」を開始

中学生の基礎学力の向上や学習習慣の定着、学習に対する興味関心を高めてもらおうと、市立中学校の全生徒の希望者を対象に無料の学習支援「野田市子ども未来教室」をスタートさせました。10か所の公民館と2か所のコミュニティセンターと保健センターを会場に、毎週1回平日に大学生や教員免許を持った方などが講師を務め、29年度では約50回開催しました。

15日 市報の다가全面カラー化

より見やすい市報を目指して、ページ数と紙面構成を見直すことで経費を上げずに、市報全ページをカラー化しました。紙面に「HP検索」の番号を追加し、市ホームページで記事の詳細を確認できるようにしました。

5 16日 「適応指導学級関宿分室」を開設

28日 ごみのない街の実現に「街を大掃除」

「ゴミゼロ運動」と「江戸川クリーン大作戦」が日光街道沿いと江戸川河川敷で行われました。自治会や子ども会、企業など83団体、合計1,619人の方に参加いただき、「街を大掃除」しました。

6 11日 「介護予防10年の計」シルバーリハビリ体操導入で記念講演会

従来の介護予防事業を再編した「介護予防10年の計」は、シルバーリハビリ体操の普及などの6つの戦略で構成されています。同体操を考案した大田仁史医学博士の記念講演会が開催されました。

17日 コウノトリ「ヤマト」を試験放鳥

放鳥式でコウノトリ幼鳥1羽を「ヤマト」と命名し、3年連続の試験放鳥を行いました。式終了後、天井のネットを開け、しばらくたった後、ケージから飛び立ち施設周辺に約1時間半とどまった後、再びケージ内に戻りました。約半年間施設周辺に滞在しました。



6月17日 コウノトリ「ヤマト」を放鳥



8月5日 「野田の『のんちゃん』」の登場に大歓声



10月2日 パスポート申請に職員が丁寧に説明